

シリーズ 47

生涯学習

学習機会の提供

ふれあい深まる交流会

夏は三隅で 冬は八代で

交流会世話人 石村 寛行

浅田小の六年生をはじめ、河村校長先生、担任の田中先生、兄弟、保護者ら六十三名が一月二十四日、ツルの里八代を訪れた。



ツルのえさの贈り物

「お兄さん、お姉さんが八代に行く時のお土産に」と、一年生が生活科の時間に一生懸命集めてくれたもみや、長門三隅農協ライスセンターの御好意でいただいた多量のもみ、昨年夏、三隅町で初めて交流会を行った時に作った萩焼きなどを贈り物に、心はずませでの再会である。

ツル監視員の弘中さんの話を聞きながら、ツル観察を楽ししむ、時折ツルの気高い鳴き声が八代盆地に響くと、まさにツルの里一色を感じる。毎年ツルの飛来数が減り、大変心配しておられる様子、(ツルさん、おいしい三隅のもみをいっぱい食べて、来年は沢山の仲間を連れてきてね)。

八代小体育館で、地元保護者の手料理、豚汁をいただき



ツル工作に挑戦

ながら全員で食事を済ませた後、郷土民芸のツルの工作に親子でチャレンジ、材料準備に一月かかると聞き、その御苦労と温かい思いやりに心から感謝、約二時間をかけて宝物の作品が完成した。

ツルの里で多数の人がふれあい、喜びと感動が生まれた「このすばらしい交流会を今後是非続けましょう」河村校長先生のこの言葉を置き土産に、八代を後にした。



学習あれこれ

○ 幼保合同

家庭教育学級

一月二十九日、昨年度に引き続き、幼稚園・保育所合同の家庭教育学級が開催されました。

各所属の役員さんが中心になって、事前の準備、当日の運営と大活躍でした。

まさに自分たちの手による手づくりの学習会でした。

光市の福永常宏先生をお迎えしての同和問題学習会には六十数名の会員が参加して、熱心に講話を聞いておられました。同和問題の解決に向けて、意を新たにされたことでしょう。

の作成に取り組んでいました。最終日には、検定用の文書を作成し、めでたく修了証を手に入れました。このワープロ教室をきっかけに、学習の輪と仲間の輪が広がることを期待しています。

○ ワープロ教室

二月一日～四日の間、初級ワープロ教室Ⅱ期が実施されました。今回も募集開始早々たくさんの申し込み者があり、関心の高さがうかがえました。

参加者は、講師の指示に耳を傾け、テキストに目を注ぎ、互いに助け合いながら、文書



○ ちいさな美術館

習研書道展

○ 会場 農業者トレセン
○ 期間 3月末まで

力作ぞろいです。ぜひ、ご覧ください。